

予算委員会

委員一覧 (45名)

委員長	溝手 顕正 (自民)	川崎 稔 (民主)	岩城 光英 (自民)
理事	犬塚 直史 (民主)	郡司 彰 (民主)	木村 仁 (自民)
理事	小林 正夫 (民主)	自見 庄三郎 (民主)	北川 イッセイ (自民)
理事	前川 清成 (民主)	下田 敦子 (民主)	佐藤 信秋 (自民)
理事	峰崎 直樹 (民主)	鈴木 寛 (民主)	関口 昌一 (自民)
理事	森 ゆうこ (民主)	武内 則男 (民主)	南野 知恵子 (自民)
理事	岩永 浩美 (自民)	富岡 由紀夫 (民主)	林 芳正 (自民)
理事	坂本 由紀子 (自民)	白 眞勲 (民主)	山田 俊男 (自民)
理事	鶴保 庸介 (自民)	広田 一 (民主)	山本 一太 (自民)
理事	荒木 清寛 (公明)	藤末 健三 (民主)	加藤 修一 (公明)
	相原 久美子 (民主)	藤本 祐司 (民主)	草川 昭三 (公明)
	石井 一 (民主)	牧山 ひろえ (民主)	澤 雄二 (公明)
	大石 尚子 (民主)	蓮 舫 (民主)	大門 実紀史 (共産)
	大河原 雅子 (民主)	泉 信也 (自民)	近藤 正道 (社民)
	大塚 耕平 (民主)	市川 一朗 (自民)	荒井 広幸 (改ク)

(21.1.6 現在)

(1) 審議概観

第171回国会において、本委員会に付託された案件は、平成二十年度補正予算3案(第2号、特第2号、機第2号)、平成二十一年度総予算3案及び平成二十一年度補正予算3案(第1号、特第1号、機第1号)であった。平成二十年度補正予算(第2号、特第2号)は修正議決、平成二十年度補正予算(機第2号)は否決され、平成二十一年度総予算3案は否決された。また、平成二十一年度補正予算3案は否決された。これらは、いずれも憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決(可決)が国会の議決となった。なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

平成二十年度補正予算 平成二十年度補正予算3案(第2号、特第2号、機第2号)は、1月5日国会に提出され、1月27日に成立し

た。

予算委員会では、衆議院からの送付の後、1月19日、民主党・新緑風会・国民新・日本及び社会民主党・護憲連合から、定額給付金の経費を削る旨の一般会計補正予算及び特別会計補正予算に対する修正案が提出された。同日、財務大臣から補正予算3案の趣旨説明を聴取するとともに、修正案提出者より、両修正案の趣旨説明が行われた。以後、原案及び両修正案について一括して審議が行われ、同月26日、討論の後、平成二十年度補正予算(第2号、特第2号)は修正議決、平成二十年度補正予算(機第2号)は否決された。

主な質疑の内容は以下のとおりである。まず経済問題について、「今回の世界的な金融危機の要因は何か。政府は現在の経済状況にどう対応していくのか。厳しさを増す雇用情勢への対応はどうか」との質疑があり、これに

対し、麻生内閣総理大臣及び関係各大臣並びに日本銀行総裁より、「近年、世界的に高い経済成長と低い物価水準が続き、金融機関や投資家のリスク評価が非常に甘くなった。また、先進国を中心に、低金利が続き、借金が大きく拡大したことも、今回の金融危機の要因の一つと考えている。金融市場は、世界中に拡大しており、金融危機が実体経済に与える影響は大きく、成長回復が各国共通の課題となっている。我が国も、事業規模75兆円の経済対策を実施することとしており、2次にわたる補正予算、21年度予算を合わせて、切れ目のない対策を講じていきたい。雇用については、非正規労働者だけでなく正規労働者にまで厳しさが拡がり始めており、今後、失業率は更に悪化することも懸念される。こうした状況を踏まえ、都道府県に雇用創出のための基金を造成するほか、派遣労働者の雇い入れに対する奨励金制度の創設、離職者訓練の拡充等の対策を進めていきたい」旨の答弁が行われた。

次に、定額給付金について、「世論調査等で国民の批判が多い定額給付金は、やめるべきではないか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣及び関係各大臣より、「生活者に対する支援のほか、GDPの多くを占める消費の落ち込みを防ぐ景気対策としての効果もある。諸外国でも家計への直接給付を実施する例は多く、即効性の観点からも、有効な対策と考えている」旨の答弁があった。また、両修正案の提出者からは、「定額給付金は、生活対策か景気対策か根本的な理念が曖昧な上、効果も限定的で、国民からは、その財源をもっと有効に使うべきとの声が多く聞かれる。定額給付金は削除し、学校耐震化、医療や介護の職員増員と待遇改善、雇用対

策など、より効果的な使い方を、与野党が胸襟を開いて議論すべきである」旨の答弁が行われた。

このほか、日韓関係、西アジア外交、公務員改革及び天下り、行政の無駄の排除、消費税の引上げ問題、補正予算の財源、学校の耐震化、基礎年金の国庫負担引上げ、少子化対策、中小企業対策、減反政策の見直し、地域の活性化、環境政策と米国のグリーン・ニューディール等について質疑が行われた。

平成二十一年度総予算 平成二十一年度総予算3案は、1月19日国会に提出され、3月27日に成立した。

予算委員会では、3月4日、財務大臣より趣旨説明を聴取した後、翌5日より質疑に入り、12日には経済・雇用・社会保障に関する集中審議、16日午後には行革・天下り・郵政に関する集中審議、19日午前には外交・安全保障等に関する集中審議を、また、3月17日には公聴会を、24日及び25日には委嘱審査を、そして、27日午前には締めくくり質疑を行い、討論の後、賛成少数をもって否決した。なお、予備審査中の2月16日及び17日に山口県及び広島県に委員を派遣して現地調査を行った。

主な質疑の内容は以下のとおりである。まず、経済問題について、「なぜ米国発の経済金融危機が全世界に広がったのか。日本経済の危機的な状況をどう認識し、対応していくのか。構造改革路線を総括し、方向転換を明らかにすべきではないか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣及び関係大臣より、「サブプライムと言われる米国の住宅ローン債権が世界中に売却されたが、住宅価格のバブルがはじけた結果、これらの債権を購入した金融機関が大きな被害を被ることと

なった。グローバル化した経済の下で、こうした金融危機が極めて短期間かつ広範に全世界に波及したと考えている。日本の金融システムは、諸外国に比べ安定しているものの、金融危機により世界経済が大きく減速したため、外需に依存してきた日本経済は、輸出関連企業を中心に急速に悪化した。政府としては、生活者、中小企業、地方の三つに重点を置いて内需喚起を図ることとし、総額75兆円の経済対策を策定しており、速やかに諸施策を実行に移し、その効果を国民が実感できるようにしていきたい。構造改革については、一連の改革により経済を活性化させた点で一定の成果はあったが、格差や地域の疲弊など改革による歪みが生じている。改革を否定するものではないが、改革の歪みへの配慮など改善措置を講ずることで、改革を更に進化させていくことが必要と考えている」旨の答弁があった。

また、雇用問題について、「派遣労働者の解雇、内定取消しなど、雇用情勢は厳しさを増しているが、雇用対策にどう取り組むのか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣及び関係各大臣より、「経済情勢の悪化に伴い、有効求人倍率が急激に低下するなど、雇用は極めて厳しい状況にある。こうした状況にかんがみ、雇用維持を図る助成金の拡充や雇用機会を創出する4,000億円の基金を創設するなど、これまでにない規模・内容の雇用対策を実施していく」旨の答弁があった。

次に、財政問題について、「日本財政の現状をどう認識しているのか。税制抜本改革についての考えはどうか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣及び関係各大臣より、「国と地方の長期債務残高は804兆円、対GDP比で158パーセントになると見込まれ、我

が国財政は主要先進国の中でも、極めて厳しい状況にある。年金、医療、介護等の制度を含め財政を持続可能なものにしていかなければならず、そのためには、無駄の排除、行政改革を含めた歳出削減、経済成長の実現とともに、消費税を含む税制の抜本改革が必要と考えている。極めて厳しい経済情勢が続いており、今、国民に税制の抜本改革をお願いできる状況ではないが、経済が回復した後に、国民生活や経済にショックを与えないよう、段階的に実現していきたい」旨の答弁が行われた。

このほか、行政改革、北朝鮮問題、ソマリア沖海賊対策、政治とカネの問題、経済緊急対応予備費、医療・介護対策、子どもの貧困、青少年育成策、農業政策、高速道路料金の引下げ、公共事業の地方負担、観光立国、郵政民営化、地方分権、日本版グリーン・ニューディール、領土問題、沖縄米軍基地問題等について質疑が行われた。

平成二十一年度補正予算 平成二十一年度補正予算3案(第1号、特第1号、機第1号)は、4月27日国会に提出され、5月29日に成立した。

予算委員会では、衆議院からの送付の後、5月19日、財務大臣から補正予算3案の趣旨説明を聴取し、翌20日から質疑に入り、29日、討論の後、否決された。

まず、経済問題について、「日本経済の現状認識はどうか。世界同時不況の下、政府はどう対応していくのか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣及び関係各大臣並びに日本銀行総裁より、「実質GDPが、2四半期連続して年率2ケタの大幅なマイナスとなるなど、日本経済は厳しい状況にある。昨年

来の輸出の大幅減少に加え、今年に入り設備投資を中心に内需も減少し、さらに企業部門の悪化が家計にも波及してきている。先行指標である機械受注や生産などには、上向きの動きもみられるが、雇用情勢は悪化が続き、海外経済には下振れリスクもあり、今後の動向を注意深く見てまいりたい。政府としては、総額75兆円の経済対策が着実に成果を上げつつあると認識しているが、現下の経済情勢等を踏まえ、新たに「経済危機対策」を策定し、補正予算を編成した。今回の対策では、景気の底割れを防ぐため、雇用調整助成金の拡充など雇用対策や中小企業の資金繰り対策のほか、未来への成長力強化につながる施策、地域の活性化策等を盛り込んでおり、こうした施策を速やかに実行に移していくことが最も重要と考えている」旨の答弁が行われた。

また、「今回の補正予算では、基金に対し多額の予算が計上されているが、基金を造成する理由は何か。基金の使用状況については、適宜、国会に報告するとともに、残額は国庫に返納すべきではないか。多年度にわたる基金の支出は、憲法が定める予算の単年度

主義に反するのではないか」との質疑があり、これに対し、麻生内閣総理大臣及び関係各大臣等より、「複数年度にわたる事業を効率的かつ円滑に実施するため、必要な場合に限り、基金を活用することとした。いずれも経済危機対策を円滑に実施し、国民生活の安定に必要なものと考えている。基金の使用状況については、様々な方法で国会、国民に報告し、しっかりと説明責任を果たすとともに、基金の残額については、国庫返納の義務づけを要綱で定めるなど、適正な執行に努めていきたい。基金と憲法との関係については、国の支出に着目する限り、今年度中に総額を支出するもので、その経費を補正予算に計上し国会の審議に付することは、憲法の趣旨に反するものではないと考えている」旨の答弁が行われた。

このほか、北朝鮮の核実験、北方領土問題、雇用対策、中小企業対策、消費税問題、生活保護の母子加算、郵政民営化、少子化対策、農業問題、高速道路整備のあり方、介護対策、医師確保策、がん検診、自殺対策、新型インフルエンザ対策、天下り問題等について質疑が行われた。

(2) 委員会経過

○平成21年1月6日(火) (第1回)

- ・理事の補欠選任を行った。
- ・予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。

○平成21年1月19日(月) (第2回)

— 総括質疑 —

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十年度一般会計補正予算(第2号)(衆議院送付)
平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)(衆

議院送付)

平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)(衆議院送付)

以上3案について中川財務大臣から趣旨説明を聴いた後、以上3案、平成二十年度一般会計補正予算(第2号)(衆議院送付)に対する修正案及び平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)(衆議院送付)に対する修正案について修正案提出者参議院議員福山哲郎君、同福島みずほ君、同自見庄三郎君、同尾立源幸君、同大塚耕平君、麻生内閣総理大臣、与

謝野内閣府特命担当大臣、中川国務大臣、二階経済産業大臣、鳩山総務大臣、石破農林水産大臣、金子国土交通大臣、舛添厚生労働大臣、塩谷文部科学大臣、佐藤国家公安委員会委員長、野田国務大臣、浜田防衛大臣、斉藤環境大臣、甘利国務大臣、小渊内閣府特命担当大臣、平田財務副大臣及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

椎名一保君（自民）、※坂本由紀子君（自民）、※小池正勝君（自民）、※北川イッセイ君（自民）、峰崎直樹君（民主）、※蓮舫君（民主） ※関連質疑

○平成21年1月20日（火）（第3回）

— 総括質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）

平成二十年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）

平成二十年度政府関係機関補正予算（機第2号）（衆議院送付）

以上3案、平成二十年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）に対する修正案及び平成二十年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）に対する修正案について修正案提出者参議院議員福山哲郎君、麻生内閣総理大臣、中川国務大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、舛添厚生労働大臣、鳩山総務大臣、二階経済産業大臣、中曾根外務大臣、金子国土交通大臣、塩谷文部科学大臣、斉藤環境大臣、小渊内閣府特命担当大臣、野田国務大臣、甘利国務大臣、佐藤国家公安委員会委員長、宮崎内閣法制局長官、政府参考人及び参考人独立行政法人国際協力機構副理事長大島賢三君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

※蓮舫君（民主）、※直嶋正行君（民主）、峰崎直樹君（民主）、※犬塚直史君（民主）、※石井一君（民主）、山口那津男君（公明）、大門実紀史君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成21年1月21日（水）（第4回）

— 質疑・一般質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）

平成二十年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）

平成二十年度政府関係機関補正予算（機第2号）（衆議院送付）

以上3案、平成二十年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）に対する修正案及び平成二十年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）に対する修正案について次の参考人から意見を聴いた後、修正案提出者参議院議員尾立源幸君、舛添厚生労働大臣、中川国務大臣、金子国土交通大臣、河村内閣官房長官、小渊内閣府特命担当大臣、塩谷文部科学大臣、森法務大臣、二階経済産業大臣、鳩山総務大臣、斉藤環境大臣、石破農林水産大臣、中曾根外務大臣、政府参考人、参考人学習院大学経済学部教授宮川努君、社団法人日本経済団体連合会常務理事川本裕康君及び日本労働組合総連合会事務局長古賀伸明君に対し質疑を行った。

- ・質疑

〔参考人〕

社団法人日本経済団体連合会常務理事 川本裕康君

日本労働組合総連合会事務局長 古賀伸明君

学習院大学経済学部教授 宮川努君

〔質疑者〕

小林正夫君（民主）、坂本由紀子君（自民）、荒木清寛君（公明）、山下芳生君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク）

- ・一般質疑

〔質疑者〕

大久保勉君（民主）、※藤末健三君（民主）、石井みどり君（自民）、荒木清寛君（公明）、山下芳生君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成21年1月26日（月）（第5回）

— 締めくくり質疑 —

- ・平成二十年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）

議院送付)

平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)(衆議院送付)

平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)(衆議院送付)

以上3案、平成二十年度一般会計補正予算(第2号)(衆議院送付)に対する修正案及び平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)(衆議院送付)に対する修正案について麻生内閣総理大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、鳩山国務大臣、佐藤国家公安委員会委員長、中川財務大臣、舛添厚生労働大臣、金子国土交通大臣、斉藤環境大臣、二階経済産業大臣、中曽根外務大臣、河村内閣官房長官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、

平成二十年度一般会計補正予算(第2号)(衆議院送付)

平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)(衆議院送付)

以上両案をいずれも修正議決し、

平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号)(衆議院送付)を否決した。

[質疑者]

森ゆうこ君(民主)、※広田一君(民主)、南野知恵子君(自民)、加藤修一君(公明)、仁比聡平君(共産)、近藤正道君(社民、委員外議員)、荒井広幸君(改ク)

※関連質疑

(平成二十年度一般会計補正予算(第2号)修正案)

賛成会派 民主、共産、社民

反対会派 自民、公明、改ク

(平成二十年度一般会計補正予算(第2号)修正部分を除く原案)

賛成会派 民主、自民、公明、改ク

反対会派 共産、社民

(平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)修正案)

賛成会派 民主、共産、社民

反対会派 自民、公明、改ク

(平成二十年度特別会計補正予算(特第2号)修正部分を除く原案)

賛成会派 民主、自民、公明、改ク

反対会派 共産、社民

(平成二十年度政府関係機関補正予算(機第2号))

賛成会派 自民、公明、改ク

反対会派 民主、共産、社民

・平成二十一年度総予算審査のため委員派遣を行うことを決定した。

○平成21年3月4日(水)(第6回)

・平成二十一年度一般会計予算(衆議院送付)

平成二十一年度特別会計予算(衆議院送付)

平成二十一年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について与謝野財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成21年3月5日(木)(第7回)

— 基本的質疑 —

・政府参考人の出席を求めることを決定した。

・参考人の出席を求めることを決定した。

・平成二十一年度一般会計予算(衆議院送付)

平成二十一年度特別会計予算(衆議院送付)

平成二十一年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について麻生内閣総理大臣、甘利国務大臣、石破農林水産大臣、与謝野国務大臣、舛添厚生労働大臣、鳩山総務大臣、森法務大臣、塩谷文部科学大臣、小渕内閣府特命担当大臣、中曽根外務大臣、金子国土交通大臣、二階経済産業大臣、斉藤環境大臣、近藤農林水産副大臣、政府参考人、最高裁判所当局、会計検査院当局及び参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君に対し質疑を行った。

[質疑者]

平田健二君(民主)、※森ゆうこ君(民主)、

※主濱了君(民主)、※長谷川憲正君(民主)、

※田中康夫君(民主) ※関連質疑

○平成21年3月6日(金)(第8回)

— 基本的質疑 —

・参考人の出席を求めることを決定した。

・平成二十一年度一般会計予算(衆議院送付)

平成二十一年度特別会計予算(衆議院送付)

平成二十一年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について麻生内閣総理大臣、森法務大臣、河村内閣官房長官、与謝野国務大臣、金子国土交通大臣、鳩山総務大臣、石破農林水産大臣、舛添厚生労働大臣、二階経済産業大臣、甘利国務大臣、野田国務大臣、中曽根外務大臣、浜田防衛大臣、塩谷文部科学大臣、斉藤環境大臣、宮崎内閣法制局長官、政府参考人及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

岩永浩美君（自民）、※佐藤昭郎君（自民）、※山谷えり子君（自民）、※二之湯智君（自民）、木庭健太郎君（公明）、※西田実仁君（公明）、小池晃君（共産）、福島みずほ君（社民）、大江康弘君（改ク）

※関連質疑

○平成21年3月9日(月) (第9回)

— 一般質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、鳩山国務大臣、森法務大臣、与謝野国務大臣、舛添厚生労働大臣、中曽根外務大臣、河村内閣官房長官、斉藤環境大臣、金子国土交通大臣、浜田防衛大臣、二階経済産業大臣、塩谷文部科学大臣、野田国務大臣、小淵内閣府特命担当大臣、漆間内閣官房副長官、橋本外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

鈴木寛君（民主）、木村仁君（自民）、富岡由紀夫君（民主）、※藤田幸久君（民主）、鰐淵洋子君（公明）、山下芳生君（共産）、近藤正道君（社民）、荒井広幸君（改ク）

※関連質疑

○平成21年3月10日(火) (第10回)

— 一般質疑 —

- ・平成二十一年度総予算審査のため公聴会開催承認要求書を提出することを決定した。
- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・派遣委員から報告を聴いた。

- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について与謝野国務大臣、石破農林水産大臣、塩谷文部科学大臣、河村内閣官房長官、金子国土交通大臣、小淵内閣府特命担当大臣、鳩山国務大臣、舛添厚生労働大臣、斉藤環境大臣、野田国務大臣、政府参考人、参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君及び東日本高速道路株式会社代表取締役社長井上啓一君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

郡司彰君（民主）、山田俊男君（自民）、※西田昌司君（自民）、藤本祐司君（民主）、※相原久美子君（民主）、澤雄二君（公明）、紙智子君（共産）、又市征治君（社民）、荒井広幸君（改ク）

※関連質疑

○平成21年3月11日(水) (第11回)

— 一般質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について鳩山総務大臣、与謝野財務大臣、舛添厚生労働大臣、金子国土交通大臣、塩谷文部科学大臣、小淵内閣府特命担当大臣、中曽根外務大臣、浜田防衛大臣、二階経済産業大臣、加納国土交通副大臣、平田財務副大臣、政府参考人、参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君及び日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

尾立源幸君（民主）、※大河原雅子君（民主）、岩城光英君（自民）、※佐藤信秋君（自民）、牧山ひろえ君（民主）、草川昭三君（公明）、井上哲士君（共産）、山内徳信君（社民）、荒井広幸君（改ク）

※関連質疑

○平成21年3月12日(木) (第12回)

— 集中審議（経済・雇用・社会保障） —

- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）

平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、与謝野国務大臣、舛添厚生労働大臣、二階経済産業大臣、鳩山国務大臣、森法務大臣、塩谷文部科学大臣、金子国土交通大臣、河村内閣官房長官、野田国務大臣、斉藤環境大臣、平田財務副大臣、谷本内閣府副大臣、政府参考人及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

小林正夫君（民主）、※下田敦子君（民主）、※大久保勉君（民主）、林芳正君（自民）、※関口昌一君（自民）、※島尻安伊子君（自民）、加藤修一君（公明）、仁比聡平君（共産）、近藤正道君（社民）、松下新平君（改ク） ※関連質疑

○平成21年3月13日（金）（第13回）

— 参考人に対する質疑（構造改革）—

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

株式会社第一生命経済研究所主席エコノミスト 熊野英生君

慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平君

東洋大学経済学部教授 高橋洋一君

〔質疑者〕

峰崎直樹君（民主）、鶴保庸介君（自民）、荒木清寛君（公明）、山下芳生君（共産）、近藤正道君（社民）、荒井広幸君（改ク）

○平成21年3月16日（月）（第14回）

— 一般質疑・集中審議（行革・天下り・郵政）—

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、中曽根外務大臣、浜田防衛大臣、与謝野国務大臣、斉藤環境大臣、金子国土交通大臣、鳩山国務大臣、舛添厚生労働大臣、二階経済産業大臣、甘利国務大臣、河村内閣官房長官、漆間内閣官房副長官、竹島公正取引委員会委員長、谷人事院総裁、政府参考人及び参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君に対し質疑を行った。

・一般質疑

〔質疑者〕

大石尚子君（民主）、※藤末健三君（民主）

・集中審議（行革・天下り・郵政）

〔質疑者〕

前川清成君（民主）、※福山哲郎君（民主）、脇雅史君（自民）、澤雄二君（公明）、大門実紀史君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク）

○平成21年3月17日（火）（公聴会 第1回）

- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について次の公述人から意見を聴き質疑を行った。

〔公述人〕

反貧困ネットワーク事務局長

NPO法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長 湯浅誠君

大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授 赤井伸郎君

北海道大学大学院法学研究科教授 山口二郎君

会社顧問 落合峻君

横浜国立大学大学院国際社会科学研究所准教授 井手英策君

神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部教授 山崎泰彦君

- ・公述人（湯浅誠君、赤井伸郎君）に対する質疑（財政・経済・雇用）

〔質疑者〕

藤本祐司君（民主）、市川一朗君（自民）、

加藤修一君（公明）、大門実紀史君（共産）、
福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク）

- ・公述人（山口二郎君、落合駿君）に対する質疑（行政改革、外交・安全保障）

〔質疑者〕

犬塚直史君（民主）、山本一太君（自民）、
荒木清寛君（公明）、井上哲士君（共産）、
福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク）

- ・公述人（井手英策君、山崎泰彦君）に対する質疑（社会保障・国民生活）

〔質疑者〕

広田一君（民主）、南野知恵子君（自民）、
荒木清寛君（公明）、井上哲士君（共産）、
荒井広幸君（改ク）

○平成21年3月18日（水）（第15回）

— 一般質疑 —

- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について内閣委員会、総務委員会、
法務委員会、外交防衛委員会、財政金融委員会、
文教科学委員会、厚生労働委員会、農林
水産委員会、経済産業委員会、国土交通委員
会及び環境委員会については3月24日の1日
間、沖縄及び北方問題に関する特別委員会及
び政府開発援助等に関する特別委員会につ
いては3月25日の1日間、当該委員会の所管に
係る部分の審査を委嘱することを決定した。

以上3案について与謝野国務大臣、河村内閣
官房長官、佐藤内閣府特命担当大臣、金子国
土交通大臣、鳩山総務大臣、中曽根外務大臣、
二階経済産業大臣、舛添厚生労働大臣、浜田
防衛大臣、宮澤内閣府副大臣、大村厚生労働
副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

泉信也君（自民）、※森まさこ君（自民）、
森田高君（民主）、浜田昌良君（公明）、小
池晃君（共産）、淵上貞雄君（社民）、荒井
広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成21年3月19日（木）（第16回）

— 集中審議（外交・安全保障等） —

- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）

平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送
付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、中曽根
外務大臣、金子国土交通大臣、浜田防衛大臣、
塩谷文部科学大臣、斉藤環境大臣、森法務大
臣、河村内閣官房長官、与謝野財務大臣、漆
間内閣官房副長官、宮崎内閣法制局長官及び
政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

一川保夫君（民主）、※喜納昌吉君（民主）、
山本一太君（自民）、※佐藤正久君（自民）、
山本香苗君（公明）、井上哲士君（共産）、
山内徳信君（社民）、荒井広幸君（改ク）

※関連質疑

○平成21年3月23日（月）（第17回）

— 一般質疑 —

- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送
付）

以上3案について石破農林水産大臣、舛添厚
生労働大臣、与謝野財務大臣、金子国土交通
大臣、鳩山国務大臣、中曽根外務大臣、浜田
防衛大臣、森法務大臣、河村内閣官房長官、
塩谷文部科学大臣、甘利国務大臣、漆間内閣
官房副長官、渡辺厚生労働副大臣、橋本外務
副大臣、政府参考人及び会計検査院当局に対
し質疑を行った。

〔質疑者〕

大塚耕平君（民主）、※広田一君（民主）、
市川一朗君（自民）、犬塚直史君（民主）、
北川イッセイ君（自民）、※坂本由紀子君
（自民）、澤雄二君（公明）、紙智子君（共
産）、淵上貞雄君（社民）、荒井広幸君（改
ク） ※関連質疑

○平成21年3月26日（木）（第18回）

— 一般質疑 —

- ・各委員長からの委嘱審査報告書は、これを会
議録に掲載することに決定した。
- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送

付)

以上3案について舛添厚生労働大臣、河村内閣官房長官、与謝野国務大臣、金子国土交通大臣、中曽根外務大臣、浜田防衛大臣、石破農林水産大臣、鴻池内閣官房副長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

蓮舫君（民主）、※藤本祐司君（民主）、仁比聡平君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成21年3月27日（金）（第19回）

— 締めくくり質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十一年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十一年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、河村内閣官房長官、与謝野国務大臣、塩谷文部科学大臣、森法務大臣、鳩山総務大臣、舛添厚生労働大臣、石破農林水産大臣、二階経済産業大臣、竹島公正取引委員会委員長、政府参考人、参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君及び日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行い、討論の後、いずれも否決した。

〔質疑者〕

峰崎直樹君（民主）、岩永浩美君（自民）、荒木清寛君（公明）、井上哲士君（共産）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク）（平成二十一年度総予算）

賛成会派 自民、公明、改ク

反対会派 民主、共産、社民

○平成21年5月19日（火）（第20回）

- ・平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
- 平成二十一年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）
- 平成二十一年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について与謝野財務大臣から趣旨説明を聞いた。

○平成21年5月20日（水）（第21回）

— 総括質疑 —

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
- 平成二十一年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

平成二十一年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、与謝野国務大臣、二階経済産業大臣、舛添厚生労働大臣、金子国土交通大臣、石破農林水産大臣、小淵内閣府特命担当大臣、鳩山国務大臣、塩谷文部科学大臣、中曽根外務大臣、河村内閣官房長官、野田国務大臣、浜田防衛大臣、西村会計検査院長、宮崎内閣法制局長官、政府参考人、参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君及び日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

谷川秀善君（自民）、※吉村剛太郎君（自民）、※中川義雄君（自民）、※鶴保庸介君（自民）、峰崎直樹君（民主）、※大塚耕平君（民主） ※関連質疑

○平成21年5月21日（木）（第22回）

— 総括質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
- 平成二十一年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）

平成二十一年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について麻生内閣総理大臣、舛添厚生労働大臣、与謝野国務大臣、塩谷文部科学大臣、金子国土交通大臣、石破農林水産大臣、鳩山総務大臣、甘利国務大臣、二階経済産業大臣、野田国務大臣、河村内閣官房長官、斉藤環境大臣、中曽根外務大臣、西村会計検査院長、政府参考人及び参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

※大塚耕平君（民主）、峰崎直樹君（民主）、
※郡司彰君（民主）、※自見庄三郎君（民主）、
※田中康夫君（民主）、山口那津男君（公明）、
仁比聡平君（共産）、福島みずほ君（社民）、
荒井広幸君（改ク）

※関連質疑

○平成21年5月22日（金）（第23回）

— 参考人に対する質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

野村證券株式会社金融経済研究所経済調査部長 木内登英君
独立行政法人労働政策研究・研修機構統括研究員 小杉礼子君
三菱UFJ証券株式会社参与景気循環研究所長 嶋中雄二君

[質疑者]

尾立源幸君（民主）、※相原久美子君（民主）、
林芳正君（自民）、荒木清寛君（公明）、
山下芳生君（共産）、福島みずほ君（社民）、
荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成21年5月25日（月）（第24回）

— 一般質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について舛添厚生労働大臣、鳩山総務大臣、与謝野国務大臣、塩谷文部科学大臣、森法務大臣、野田国務大臣、金子国土交通大臣、河村内閣官房長官、小淵内閣府特命担当大臣、石破農林水産大臣、浅野内閣官房副長

官、橋本外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

鈴木寛君（民主）、※富岡由紀夫君（民主）、
北川イッセイ君（自民）、※石井みどり君（自民）、
大河原雅子君（民主）、澤雄二君（公明）、
山下芳生君（共産）、近藤正道君（社民）、
荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成21年5月26日（火）（第25回）

— 一般質疑 —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関補正予算（機第1号）（衆議院送付）

以上3案について与謝野国務大臣、舛添厚生労働大臣、二階経済産業大臣、石破農林水産大臣、野田内閣府特命担当大臣、河村内閣官房長官、中曽根外務大臣、浜田防衛大臣、塩谷文部科学大臣、金子国土交通大臣、小淵内閣府特命担当大臣、鳩山総務大臣、齊藤環境大臣、倉田総務副大臣、金子国土交通副大臣、政府参考人、会計検査院当局及び参考人日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長西川善文君に対し質疑を行った。

[質疑者]

加藤修一君（公明）、山田俊男君（自民）、
※古川俊治君（自民）、蓮舫君（民主）、※下田敦子君（民主）、
尾立源幸君（民主）、※大久保勉君（民主）、
富岡由紀夫君（民主）、紙智子君（共産）、
福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改ク） ※関連質疑

○平成21年5月28日（木）（第26回）

— 集中審議（新型インフルエンザ・北朝鮮の核実験と危機管理） —

- ・参考人の出席を求めることを決定した。
- ・平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度特別会計補正予算（特第1号）（衆議院送付）
平成二十一年度政府関係機関補正予算（機第

1号) (衆議院送付)

以上3案について麻生内閣総理大臣、金子国土交通大臣、河村内閣官房長官、中曽根外務大臣、浜田防衛大臣、鳩山総務大臣、舛添厚生労働大臣、政府参考人、参考人国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官森兼啓太君、東京検疫所東京空港検疫所支所検疫衛生・食品監視課検疫医療専門職木村もりよ君、自治医科大学地域医療学センター教授・新型インフルエンザ対策本部専門家諮問委員会委員長尾身茂君及び国立感染症研究所感染症情報センター長岡部信彦君に対し質疑を行った。

[質疑者]

犬塚直史君 (民主)、※鈴木寛君 (民主)、山本一太君 (自民)、※西島英利君 (自民)、澤雄二君 (公明)、仁比聡平君 (共産)、福島みずほ君 (社民)、荒井広幸君 (改ク)

※関連質疑

○平成21年5月29日(金) (第27回)

— 締めくくり質疑 —

・平成二十一年度一般会計補正予算(第1号)(衆議院送付)

平成二十一年度特別会計補正予算(特第1号)
(衆議院送付)

平成二十一年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について麻生内閣総理大臣、中曽根外務大臣、舛添厚生労働大臣、与謝野国務大臣、鳩山国務大臣、森法務大臣、石破農林水産大臣、斉藤環境大臣、二階経済産業大臣、塩谷文部科学大臣、金子国土交通大臣、河村内閣官房長官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行い、討論の後、いずれも否決した。

[質疑者]

森ゆうこ君 (民主)、木村仁君 (自民)、加藤修一君 (公明)、近藤正道君 (社民)、井上哲士君 (共産)、荒井広幸君 (改ク)
(平成二十一年度補正予算)

賛成会派 自民、公明、改ク

反対会派 民主、共産、社民

委員派遣

○平成21年2月16日(月)、17日(火)

・平成二十一年度総予算の審査に資するため

[派遣地]

山口県、広島県

[派遣委員]

溝手顕正君 (自民)、前川清成君 (民主)、峰崎直樹君 (民主)、森ゆうこ君 (民主)、岩永浩美君 (自民)、鶴保庸介君 (自民)、荒木清寛君 (公明)、相原久美子君 (民主)、郡司彰君 (民主)、富岡由紀夫君 (民主)、佐藤信秋君 (自民)、林芳正君 (自民)、大門実紀史君 (共産)、福島みずほ君 (社民)、荒井広幸君 (改ク)